

第 1 回戦術委員会確認事項

2011 年 12 月 14 日
全日本金属産業労働組合協議会
(I M F - J C)

金属労協(I M F - J C)は、本日 15 時 30 分より開催した第 1 回戦術委員会において、2012 年闘争の進め方を以下のとおり確認した。

1. 金属労協は、12 月 2 日に開催した第 54 回協議委員会において、「2012 年闘争の推進」を確認した。各産別、企業連・単組は、この方針に基づき要求の策定作業を進めていく。
2. 2012 年闘争は、デフレ傾向が続き、1 ドル=70 円台の超円高、解決の兆しの見えない欧州経済危機など、先行きの厳しさが増している中での取り組みとなる。金属産業は、生産拠点のみならず、研究・開発拠点の海外移転の動きも見られ、国内雇用喪失の懸念が強まっている。
われわれ金属労協は、デフレからの脱却を図り、日本経済の成長軌道を取り戻すため、雇用の維持・確保と賃金・労働条件の底支えを徹底し、中堅・中小企業や非正規労働者を含めた働くものの賃金・労働条件の底上げ、格差解消に積極的に取り組み、「人への投資」を求めていく。
3. 2012 年闘争の下記の主要日程を設定し、金属労協の総力を結集して闘争を推進する。
 - 1 月 24 日に「2012 年闘争推進集会」を開催し、J C 共闘強化に向け、各産別の闘争方針および経営側に対する金属労協の主張点について理解促進を図る。
 - 1 月 24 日に発表予定の経団連「経営労働政策委員会報告」に対し、金属労協の見解を明らかにする。
 - 1 月 25 日に全国の最低賃金担当者を対象とした最低賃金連絡会議を開催し、2011 年度の最低賃金の取り組み経過を踏まえ、2012 年度の取り組みの考え方について、共有化を図る。
 - 集計登録組合を中心に 2 月 22 日(水)までに要求を提出し、直ちに交渉を開始する。
 - 連合第 1 回戦術委員会における「最大のヤマ場については、3 月 14~15 日とする」との確認を踏まえ、J C 共闘の集中回答日は 3 月 14 日(水)とする。加えて、各産別の主体的な取り組みのもとで共闘を展開し、3 月の月内決着をめざす。
 - 集計登録組合に続いて回答を引き出す組合を支援するため、「中堅・中小登録組合」を設定し、要求・回答状況を公表する。
 - 第 3 回戦術委員会以降の日程については、連合金属共闘連絡会議との調整を踏まえ別途設定する。
4. 第 2 回戦術委員会は、1 月 23 日(月)午前 10 時より開催する。

以 上

2012年闘争の当面の日程

2011年	12月	21日	(水)	15:30	第1回中央闘争委員会
2012年	1月	23日	(月)	10:00	第2回戦術委員会
		23日	(月)	15:30	第2回中央闘争委員会
		24日	(火)	13:00	2012年闘争推進集会
		25日	(水)	13:00	2012年度最低賃金連絡会議

以上